



**平成26年度
事業報告書**



◆平成26年度法人方針と活動状況について

◎はじめに・・・

社会福祉を取り巻く環境が変化中、その在り方が問われている社会福祉法人制度の見直しについて検討するため、厚生労働省「社会保障審議会福祉部会」にて、平成26年8月27日に議論を開始し、計14回にわたり審議を重ねられてきました。そこでは、地域における公益的な活動の推進、法人組織の体制強化、法人運営の透明性の確保等について意見が取りまとめられ、平成27年2月12日「～社会福祉法人制度改革について～」が報告されました。そして4月3日に「社会福祉法等の一部を改正する法律案」が閣議決定され、平成29年4月1日（一部平成28年4月1日）より施行されることが決定しております。

以和貴会におきましては、新制度への移行に対しても支障が生じることのないように、平成26年度から情報開示など積極的に取り組み、透明化していく体制を整えておりますが、第三者委員など外部との窓口となっていただく方の選定などにおいては、出遅れている現状があります。その他の改正点についても同様なことが起こり、運営自体ができない状態に陥らないためにも、平成28年4月の改正時対応として、理事や評議員への責務等をご理解いただき活動いただける方にいち早くアポイントメントを取り、確定しておくことが必要と考えます。また経営側も、改正後何をしていかなければならないかの知識の共有は必須と考えております。

平成27年4月1日より新規事業「風鈴山荘」（共同生活援助事業）がスタートしました。一部のご利用者限定されますが、ご利用者のプライバシーが守られた個室、閑静な環境における生活などを提供することができました。今後、ゆらくの里に残られた約60名の方にも同様な（またはそれに準ずる）環境の提供を早期に行うため、必要資金の留保、環境改善の提案、実現可能なスケジュールなどの準備を早期に実施していく必要があります。

以和貴会を支えていただいております理事・評議員をはじめ、ご利用者のご家族の方々、ボランティアの皆様を支えられ、今日運営できておりますことを深く感謝いたします。これからも障がいをお持ちの方々が、より良い人生を送ることができるように「支え」となって支援してまいります。今後も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

◎法人方針に対する各事業の目標設定と活動報告

平成26年度法人方針

継続と定着

1. 各事業 別紙報告

アクションプラン評価記号 ◎=ほぼ達成、○=大方予定通りに達成、
△=やや達成不足、×=予定にほど遠い

※平成26年度アクションプラン実施報告は、別紙にて各事業ごとに報告書を作成しております。

2. 数字から見た運営

□平成26年度利用状況について

結果については、次頁以降に詳細内容を記していますが、概要は下記のとおりです。

ゆらくの里の入所利用者は、平成27年4月からのグループホーム開設に伴う定員変更が控えていたため、75名からの増加は実施しませんでした。(グループホーム開設後、ゆらくの里の定員は、80名⇒60名、グループホーム14名、合わせて74名定員となっております。)現在、1名の方が長期にて入院をされており、ご利用者の高齢化及び重度化による入院などにより、収入が安定しないことも考えられるため、収入面への検討が必要となってきます。

今人・我楽・すみれの里の就労施設におきましては、全体で100名を超えるご利用者数となりました。平成27年4月からは、ゆらくの里(風鈴山荘)からの12名の方が地域の生活介護事業をご利用することとなり、ほぼ定員が埋まってしまいました。安定した運営が可能となった半面、28年度の新規利用者のための受け皿をどうするかを検討を早急に行っていかなければなりません。

放課後等デイサービスにおいては、株式会社の参入など多くの事業所が地域に点在する中において、平成25年度よりスーパーバイザー(重松 孝治氏(川崎医療短期大学講師))の協力のもと、TEACCH(自閉症および関連するコミュニケーション障害の子どものための治療と教育)を学び、付加価値のある差別化された事業づくりを継続して取り組んでおります。

またゆらくの里のデイサービスは27年度から日中一時支援や短期入所とは運営を切り放し、以和貴会デイサービスの「特色」を出した療育支援へと切り替えて、ご利用しやすい事業を目指すことといたします。

○利用率

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員 80名

	H26.3.31	増加	減少	H27.3.31	平均年齢	平均年数
男	53	1	0	54	49.4	17.8
女	22	0	1	21	53.8	18.7
計	75	1	0	75	50.6	18.0

※平成27年4月1日よりグループホーム風鈴山荘が開所し、定員を80名から60名に減員し、ご利用者も14名の方が退所し異動されます。

② 今人

事業名	定員	H24年度 利用率	H25年度 利用率	H26年度	
				延べ人数	利用率
就労移行支援	15	85.4	57.1	2059	55.8
就労継続B型	10	29.9	23.0	825	33.5
生活介護事業	20	73.4	75.3	2800	56.9

※比較3期間中、定員変更はありません。

我楽

事業名	定員	H24年度 利用率	H25年度 利用率	H26年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	15	81.4	65.9	2567	69.9
就労継続A型	10	68.7	67.8	1670	68.2
就労継続B型	10	—	45.7	1853	75.6

※B型事業は、平成25年度より新規事業（定員10名）としてスタート

すみれの里

事業名	定員	H24年度 利用率	H25年度 利用率	H26年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	—	40.2	2546	51.7
就労継続B型	10	—	29.8	1307	53.1

※平成25年9月、香芝市の指定事業としてスタート（25年度は7か月実績）

③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	H24年度 利用率	H25年度 利用率	H26年度	
				延べ人数	利用率
コテージ	10	60.8	60.0	1457	60.0
はぐらいぶ	20	73.9	79.5	3754	77.2

○利用契約者数

地域各就労事業所の利用契約数は、どこも定員には達しておらず、契約者数増加が最優先課題となってきます。

① 今人

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成26年4月1日	平成27年3月31日	
就労移行支援	15	13	9	0.60
就労継続B型	10	3	6	0.60
生活介護事業	20	13	19	0.95

※就労移行支援事業は、平成27年4月1日より定員を10名に変更しました。

我楽

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成26年4月1日	平成27年3月31日	
生活介護事業	15	11	17	1.13
就労継続A型	10	7	7	0.70
就労継続B型	10	9	12	1.20

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成26年4月1日	平成27年3月31日	
生活介護事業	20	13	20	1.00
就労継続B型	10	6	6	0.60

② 放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成26年4月1日	平成27年3月31日	
コテージ	10		22	2.20
はぐらいぶ	20		52	2.60

③ 短期入所及び日中一時支援事業

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成26年4月1日	平成27年3月31日	
短期入所	10		62	6.20
日中一時支援事業	10		62	6.20

□平成26年度職員状況について

26年度の法人全体実績は、正職員におきましては、増加7名、減少7名となっております。増加の内訳は、新規雇用6名（うち1名途中退職）、パートからの契約変更1名です。減少のうち、2名が専門職員（調理師、パティシエ）でありました。パート職員を含め全体でみた場合、今人拠点及び地域拠点の就労支援事業のご利用者増加に伴う増員である一方、ゆらくの里は十分な雇用につながっていないため減員となっております。

事業名	H26.3.31						H27.3.31							
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
ゆらくの里														
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		7.4	5.8	6.8	39.0	39.9	39.3	
正職員	12	8	20	13	9	22	21.0							
パート職員	3	18	21	3	13	16	8.7							
計	17	26	43	18	22	39	29.7							
今人														
サービス管理責任者	1	0	1	0	1	1		5.8	7.1	6.2	31.3	42.6	40.3	
正職員	1	3	4	1	3	4	4.0							
パート職員	0	5	5	1	5	6	2.8							
計	2	8	10	2	9	11	6.8							
我楽														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		2.5	7.0	4.0	35.9	42.4	38.0	
正職員	4	1	5	3	2	5	4.0							
パート職員	0	10	10	0	11	11	6.1							
計	5	11	16	4	13	17	10.1							
すみれの里														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		3.8	1.8	2.8	34.2	38.9	36.5	
正職員	3	4	7	2	3	5	5.1							
パート職員	1	4	5	2	4	6	2.8							
計	5	8	13	5	7	12	7.9							
コテージ														
児童発達支援管理責任者	0	1	1	0	1	1		1.8	5.0	4.2	26.0	33.8	31.9	
正職員	1	2	3	1	2	3	3.0							
パート職員	1	1	2	1	1	2	1.6							
計	2	4	6	2	4	6	4.6							
はぐ・らいぶ														
児童発達支援管理責任者	1	0	1	1	0	1		8.0	6.9	5.8	28.5	33.8	31.9	
正職員	0	3	3	0	3	3	3.0							
パート職員	0	2	2	0	2	2	1.1							
計	1	5	6	1	5	6	4.1							
しえ〜く														
正職員	1	0	1	1	1	2	2.0	2.9	0.7	1.8	53.0	61.2	57.1	
パート職員	0	1	1	0	1	1	0.5							
計	1	1	2	1	2	3	1.5							

事業名	H26.3.31			H27.3.31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
のあ														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		18.9	—	18.9	40.9	—	40.9	
正職員	0	1	1	0	0	0	1.0							
パート職員	0	5	5	0	6	6	2.2							
計	1	6	7	1	6	7	3.2							
そーる														
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1		10.9	—	10.9	40.0	—	40.0	
正職員	—	—	—	—	—	—								
パート職員（登録）	5	12	17	12	22	34								
計	6	12	18	13	22	35								
管理・厨房														
正職員	4	2	6	5	2	7		5.6	6.5	5.9	39.4	48.6	42.0	
パート職員	1	7	8	1	6	7								
計	5	9	14	6	8	14								
合計														
サービス管理責任者	8	0	8	6	2	8								
正職員	35	25	60	26	25	51				6.0			39.3	
パート職員	11	65	76	20	71	91								
計	54	90	144	52	98	150								

※看護師は、ゆらくの里に含む

※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の平成27年3月で算出しているため、あくまで参考である（常勤の月勤務時間数を150時間で計算）

※A型事業所の就労職員は含んでいない

※アルバイトは含んでいない

※そーるのパート職員（契約）の中には、他事業の正職員及びパート職員が含まれ、延べ人数として表記している

□平成26年度残業について

過去2年と比較しても、平成26年度は、大幅な増加となりました。今人拠点、地域拠点は、業務等の見直し等を行った結果、削減につながりました。反面、ゆらくの里拠点では、職員の慢性的な不足によりパート職員をはじめ、多くの正職員の負担が大幅に増加する結果となりました。

27年度は、ゆらくの里ではグループホームが開所しました。これに伴い、更に多様化する動きの中で、職員の雇用を優先に動いていますが、必要職員数の充足までの間は、一定の残業はやむを得ない状況となっております。

＜参考＞

各拠点に属する事業は以下のとおりであります。

ゆらくの里・・・・ゆらくの里、コテージ

今人・・・・今人、すみれの里、そら

地域・・・・しえ〜く、我楽、はぐらいぶ、のあ、そ〜る

〔時間〕

単位：時間

拠点	H24年度	H25年度	H26年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	2244.50	1988.00	29	2942.00	+48.0%	7.43
今人	927.50	1333.75	16	1287.75	▲ 3.4%	6.71
地域	1245.25	1200.00	6	1078.25	▲ 7.1%	14.98
計	4417.25	4521.75	55	5308.00	+17.2%	7.88

〔金額〕

単位：千円（1人当たりは円）

拠点	H24年度	H25年度	H26年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	3,510	3,106	29	4,506	+45.1%	11,381
今人	1,532	1,992	16	1,872	▲ 6.0%	9,752
地域	1,727	1,667	6	1,549	▲10.1%	21,519
計	6,770	6,765	55	7,928	+17.4%	12,013

※ゆらくの中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※集計は申請分のみ

※職員数（人）は、平成27年3月31日現在の人数（管理者は除く）

法人全体 一人当たり残業時間



□平成26年度有給休暇取得について

ゆらくの里拠点は、平成24年度はインフルエンザ、26年度はノロウイルスが施設内で流行し、罹患する職員も増加したことが要因であります。また、計画的にリフレッシュ休暇も取得実施を行っております。

今人拠点においては、平成26年度は12月から1月にかけて、インフルエンザが流行しお休みされる職員が増加しました。

地域拠点においてもインフルエンザに罹患する方がおりましたので平成26年度は増加しております。

平成28年4月から有給休暇の年5日の消化が義務化されます。(対象は有給休暇支給日数が10日以上雇用者)それに備え、職員配置の適正化を図り、取得可能な環境の提供を27年度中に各事業責任者では検討していく必要があります。

拠点	H24年度	H25年度	H26年度		
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数
ゆらくの里	122.0	66.5	35	114.0	3.25
今人	19.5	12.0	10	44.0	4.40
地域	11.0	25.0	17	69.5	4.08
計	152.5	103.5	62	227.5	3.66

※ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※期中での途中入職者は含め、退職者は含んでいない。

※1人当たりの取得日数は、取得日数を期末人数で除して計算

※各事業の管理者を含む。

※各事業職員数に変動があるため、単純な比較はできない。「すみれの里」は実際の実績もないため集計から除いています。

□平成26年度事業活動収入対人件費比率について

平成26年度は、前年度と比較し2.1%（8,052,404円）増加の383,818,700円となりました。但し、収入の増加がそれ以上の伸びであったため、対収入比率では前年度を下回る人件費率となりました。

《ゆらくの里拠点》

- ・平成26年度は、収入増（4,530千円）と人件費減（15,311千円）により、対収入比率は、大幅な減少となりました。しかし人件費が減った要因は、現状の雇用状況にあり、現職の職員の残業量の増加だけでは、事業運営は厳しい状況であるため、新規雇用が急務となっております。

《今人拠点》

- ・25年度途中よりすみれの里が事業を開始しているため、前年度比較は、金額ベースでは参考としかありませんが、対収入比率は、収入の伸びにより改善されました。ただし、適正比率には程遠いため、福祉収入の改善が急務であります。

《地域拠点》

- ・地域拠点の各事業は、配置人員に対しては、福祉収入が若干低いようです。ご利用者の増加、加算の見直し等を行い比率の改善を行っていく必要があります。

[比率]

拠点	H24年度	H25年度	H26年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	—	62.4%	58.4%	▲4.0%
今人	—	82.2%	79.0%	▲3.2%
地域	—	81.5%	90.2%	+8.7%
計	—	68.6%	67.7%	▲0.9%

※人件費率算出において、事業活動収入から就労収入を控除した金額を分母として算出
 ※25年度より新会計基準に移行した為、24年度実績は算出できておりません。

[金額]

単位：千円

拠点	H24年度	H25年度	H26年度	
			人件費	前年度比較
ゆらくの里	—	231,431	216,119	▲15,311
今人	—	59,406	72,122	+12,715
地域	—	84,928	95,188	+10,260
計	—	373,766	383,430	+7,664

※25年度より新会計基準に移行した為、24年度実績は算出できておりません。

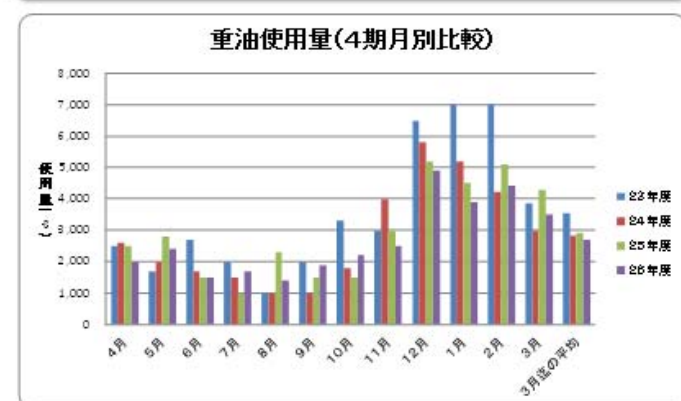
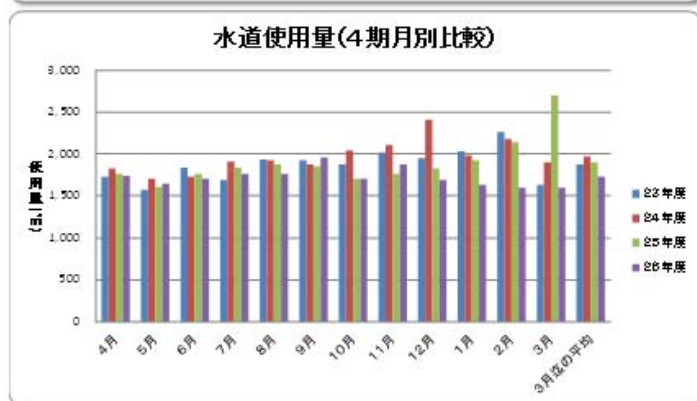
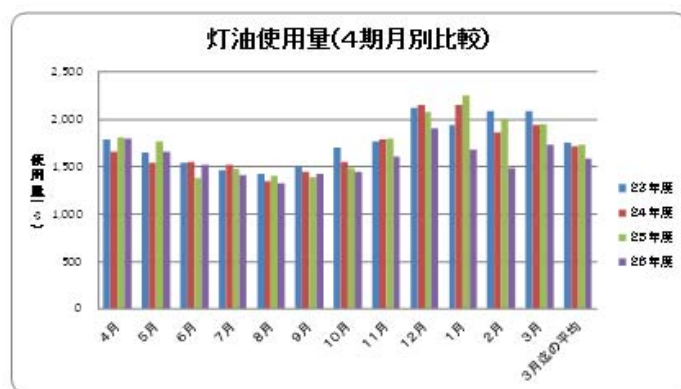
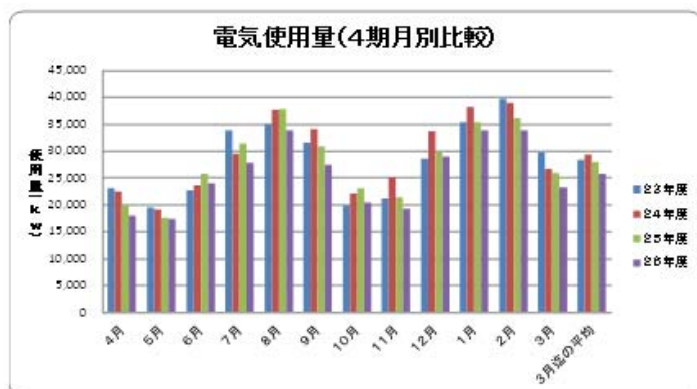
□平成26年度光熱水費について

各事業、光熱水費への節約努力をしております。(ボノボについては使用スペース増加に伴い光熱水費使用量が増加しています。)ただし価格高騰の影響で、金額ベースで見ると増加しているケースもあります。努力した結果が、この程度の増加で済んだものと考えております。

① ゆらくの里拠点

各費用について、無駄をなくし約1割程度の削減を実施できました。事業運営においては大変重要なこととであり、意識することで可能となったと思います。

	平成25年度	平成26年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	6,897 千円	6,839 千円	92.0%	99.1%
水道	6,697 千円	6,243 千円	90.9%	93.2%
灯油	2,209 千円	1,908 千円	91.3%	86.4%
重油	3,221 千円	3,036 千円	91.8%	94.3%



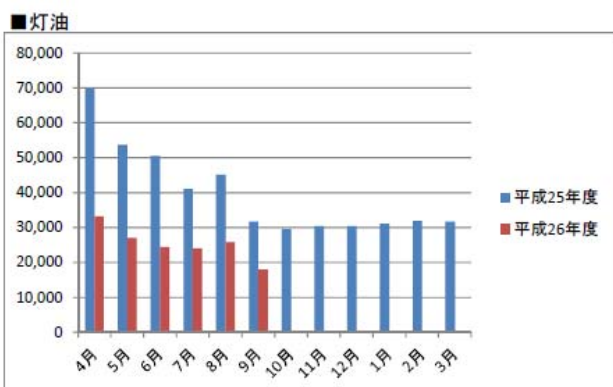
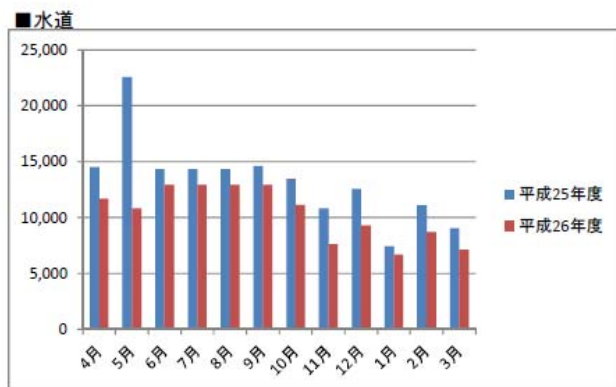
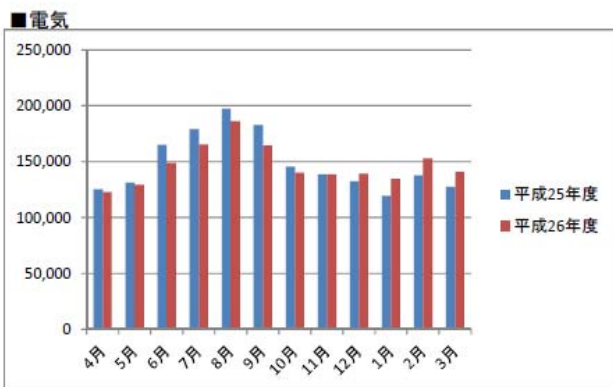
② 今人拠点（今泉）

使用料、金額どちらも、すべての項目で大幅な削減が実施、実現できました。ただし、これらの使用量の減少は、就労売上（パン製造販売）に直結していることを考えると、使用量（料金）が減少したことを手ばなしで喜べる現状ではありません。

灯油については、大型洗濯機を撤去し、家庭用（電気）洗濯機に入れ替えたことで、使用することがなくなりました。

参考：パンの販売売上高前年度比較・・・94.5%

	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,781 千円	1,763 千円	90.5%	98.9%
水道	159 千円	124 千円	81.3%	78.4%
灯油	476 千円	152 千円	30.4%	31.9%



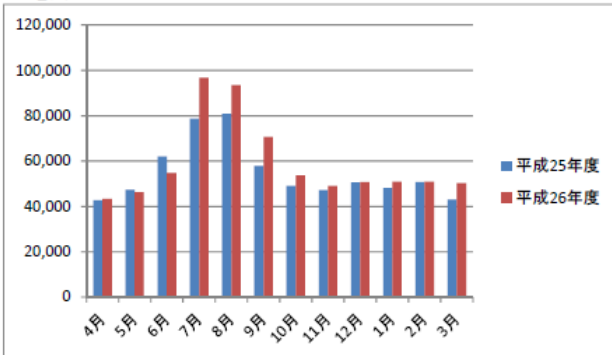
③ そら（福祉センター内）

職員の退職により管理できない時期が発生。9月より新たに雇用した調理師の販売努力により売上高が前年度をクリアした。

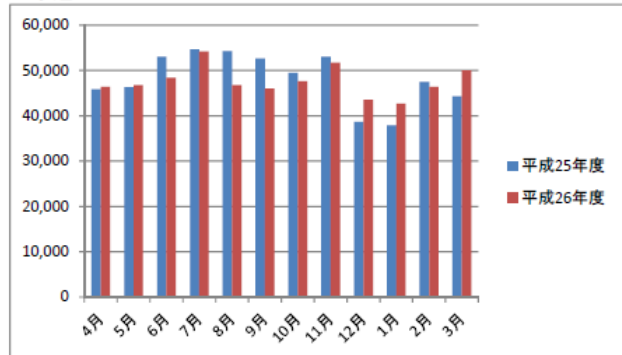
参考：食堂売上高前年度比較・・・101.5%

	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	658 千円	710 千円	88.2%	107.9%
水道	577 千円	570 千円	95.9%	98.7%
ガス代	410 千円	445 千円	101.5%	108.5%

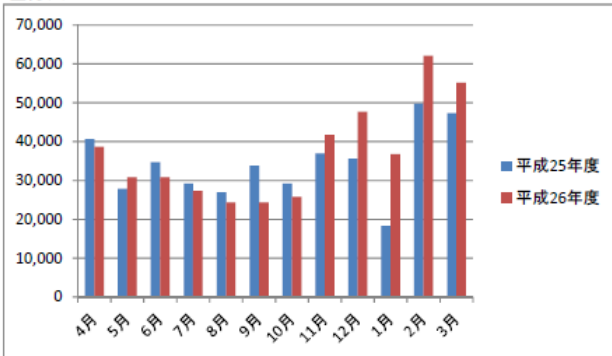
■電気



■水道



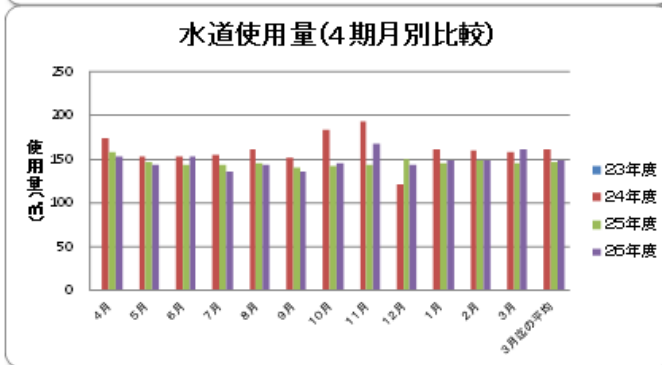
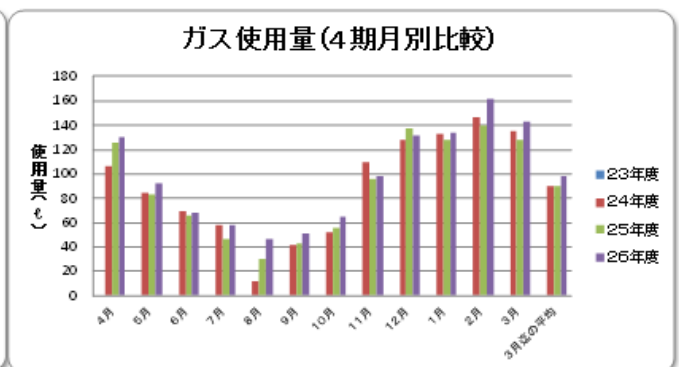
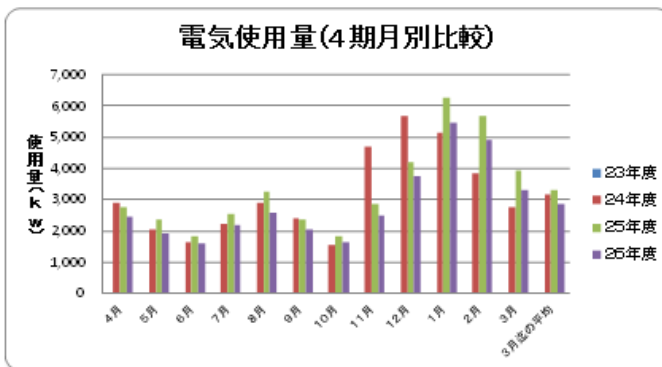
■ガス



④ のあ（穴虫 グループホーム）

電気についての節約は大幅に進んでいるものの、ガスに対する節約が十分に行われていません。水道及びガスについても無駄のない使用を心掛けていただきます。

	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,081 千円	971 千円	86.2%	89.7%
水道	286 千円	304 千円	101.3%	101.8%
ガス代	667 千円	750 千円	109.2%	112.4%

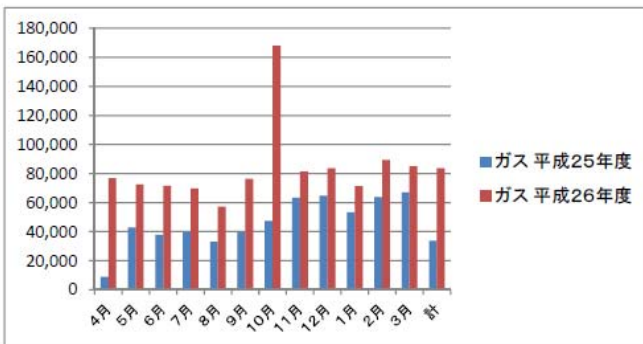
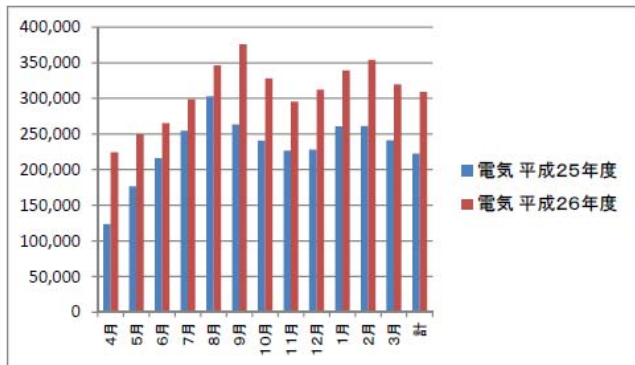
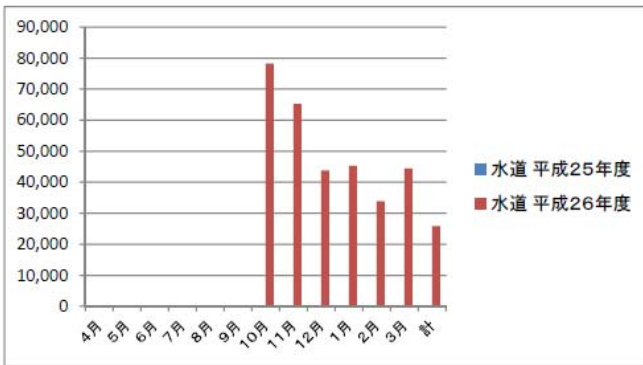


⑤ ボノビル（磯壁 地域拠点）

平成26年度にビルを法人が買い取りました。そのため共有スペース等の光熱水費が発生しました。また、カフェが前年度より売上で188.7%と大きく増加したことに伴い、電気およびガスの使用量も増加しました。

水道料金は、平成25年度及び26年度の上期はすべて所有者持ち、平成26年度下期から法人持ちとして処理しております。

	平成25年度	平成26年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	2,794 千円	3,708 千円	122.2%	132.7%
水道	— 千円	311 千円	— %	— %
ガス代	562 千円	1,003 千円	141.6%	178.4%



□平成26年度就労支援施設の就労金について

各事業、総額及び1人当たりの金額が増減するには、ご利用者の入退所、毎月のご利用日数が少ない方などによる理由がありますが、継続して利用されている方の工賃は、増加しており、今人及び我楽のB型は、目標工賃達成加算を算定できる工賃支給に取り組んでおります。

○各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

	平成25年度		平成26年度	
	工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月
今人				
就労移行	1,015,240	8,828	919,937	9,892
就労継続B型	484,753	20,198	783,478	17,411
生活介護	2,064,595	9,309	2,103,628	15,817
計	3,564,588	11,424	3,807,043	14,048
我楽				
就労継続A型	4,790,472	57,029	5,371,001	63,940
就労継続B型	1,144,354	12,173	1,779,867	14,239
生活介護	422,227	3,489	446,540	3,660
計	6,357,053	・ ・ ・	7,597,408	22,953
すみれの里				
就労継続B型	67,725	3,983	237,215	3,295
生活介護	46,655	—	—	—
計	114,380	・ ・ ・	237,215	3,295
合計	10,036,021	17,573	11,641,666	17,273

○各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

	平成25年度	平成26年度
今人		
就労移行	38.37%	47.84%
就労継続B型	32.08%	28.40%
生活介護	18.75%	21.91%
計	23.51%	26.65%
我楽		
就労継続A型	33.16%	37.63%
就労継続B型	7.84%	7.52%
生活介護	98.09%	578.25%
計	21.57%	19.99%
すみれの里		
就労継続B型	46.61%	17.18%
生活介護	10.67%	—%
計	19.64%	21.63%
合計	22.31%	21.69%

※就労収入には、内部売上を含む

□平成26年度固定資産の推移について

平成26年度は、大型な固定資産の購入が発生しました。予定を上回る費用出費となりましたため、その他予定しておりました案件はペンディングとし、27年度に再度進めて参ります。

費用発生への計画の甘さがありますので、しっかりとした計画を立て、実施の有無を判断できる体制を作っていかなければなりません。

◎取得一覧（100万円以上のもの）

単位：円

内容	金額	事業
ボノボビル 土地・建物	80,000,000	我楽
オルフィス FX7200（高速インクジェット印刷機）	2,322,000	ゆらくの里（入所）
スチームコンベクション	1,129,680	ゆらくの里
風鈴山荘 土地・建物ほか	233,121,535	風鈴山荘

《参考》

平成27年度に大型投資を行った関係で、各事業資金は、借入を実施して行いました。最長20年の借入であり、今後毎年度返済が発生します。

平成26年度末の借入実績及び今後の返済計画は以下のとおりであります。

単位：千円

借入事項	借入期間	借入残	返済計画				
			H27	H28	H29	H30	H31
カフェ内装工事資金	10	17,996	2,004	2,004	2,004	2,004	2,004
福祉医療機構借換分	2	5,328	4,008	1,320	—	—	—
ボノボビル購入資金	10	74,664	8,004	8,004	8,004	8,004	8,004
風鈴山荘購入資金	20	150,000	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
計			21,516	18,828	17,508	17,508	17,508
支払利息			2,379	2,164	1,815	1,819	1,678

□平成26年度修繕費の推移について

1. 過去2年間の推移

修繕費は、過去ほど大きな金額は計上されていないものの、案件が減少したわけではありません。修繕しなければならない部分の後回しが一番大きなものとなっております。ただし、法律や健康、安全上に問題がある箇所については、27年度において対応をする方向では検討しております。

拠点		平成25年度	平成26年度
ゆらくの里		5,223 千円	3,097 千円
今人	事務費	758 千円	867 千円
	製造原価	673 千円	187 千円
地域	事務費	2,151 千円	1,153 千円
	製造原価	—	51 千円
合 計		8,806 千円	5,356 千円

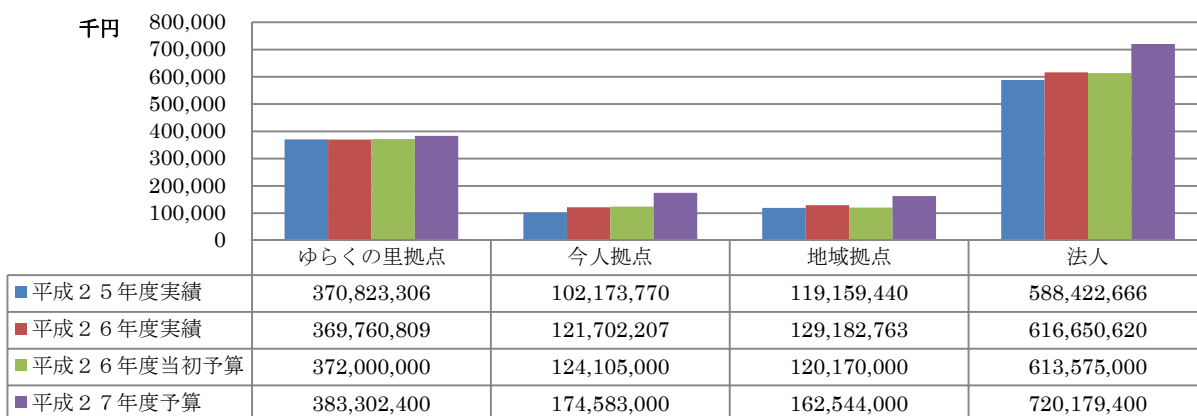
2. 修繕事業別内訳

分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	613,805	391,392	51,181	1,056,378
ガラス	242,998	—	—	242,998
公用車	606,544	476,084	363,182	1,445,810
その他設備	1,633,886	—	738,725	2,372,611
就労設備	—	187,472	51,278	238,750
計	3,097,233	1,054,948	1,204,366	5,356,547

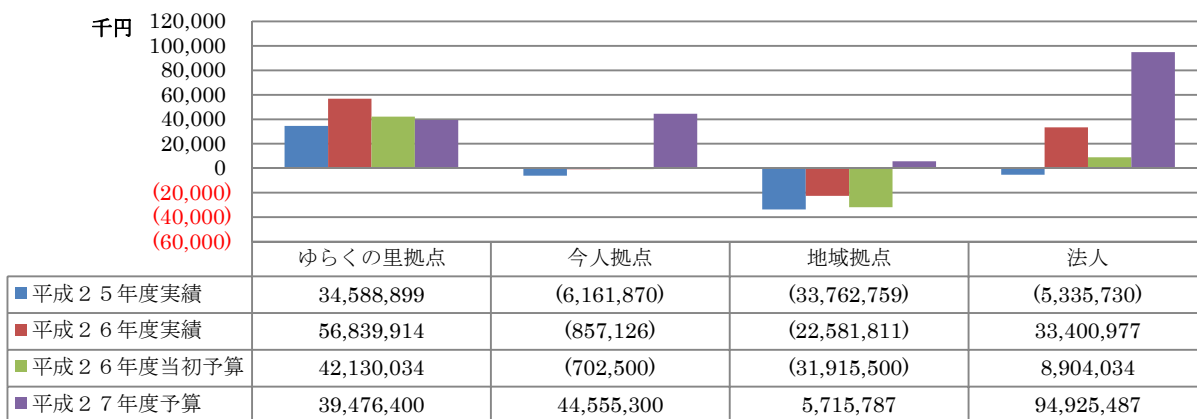
□平成26年経営成績について

平成26年度は、予算策定時より多くの問題を抱え出発しました。当初予算において事業活動収支差額が約9,000,000円、当期資金収支差額においては、約30,000,000円の赤字設定でありましたが、結果的には、事業活動収入については、ほぼ予算どおり、事業活動収支差額は、ゆらくの里拠点及び地域拠点の収支改善により33,400,977円の黒字となりました。次頁以降に拠点別詳細を記しています。

■資金収支計算書 事業活動収入



■資金収支計算書 事業活動収支差額



○拠点別報告

1. 法人全体として

当初、26年度も厳しい結果となる予算ではありましたが、事業活動収支差額で24,496千円増の33,400千円（事業収入に対し5.4%）、当期資金収支差額で19,504千円増の▲10,115千円と26年度当初予算と比較して大幅な改善となりました。改善理由は、あらゆる要素が増減しての結果であります。その額の多くを占めるのが人件費の減であります。（15,272千円減）ゆらくの里をはじめ、当初予定人員の配置不足、期中の退職者に対する補充不足などが重なった結果であり、運営上、あまり喜んで済ませる結果ではありません。27年度もこの現状が繰り返されてスタートしますが、職員配置への対応が重要です。

《事業活動収支》

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
事業活動収入	588,422	616,650	28,227	613,575	3,075
事業活動支出	593,758	583,249	▲10,508	604,670	▲21,421
事業活動収支差額	▲5,335	33,400	38,736	8,904	24,496

※「H26予」とは平成26年度当初予算を指します。（以下同じ）

《事業活動収入》

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
就労事業収入	41,269	49,725	8,455	53,610	▲3,884
福祉サービス	536,991	554,084	17,093	550,129	3,955
その他	10,161	12,840	2,678	9,836	3,004
計	588,422	616,650	28,227	613,575	3,075

《事業活動支出》

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
人件費	375,766	383,818	8,052	399,126	▲15,307
事業費	106,333	92,449	▲13,884	107,720	▲15,270
事務費	55,982	48,374	▲7,608	44,954	3,719
就労支援支出	50,778	51,024	246	49,301	1,723
その他	4,897	6,582	2,685	3,869	3,713
計	593,758	583,249	▲10,508	604,670	▲21,421

2. ゆらくの里拠点

《事業活動収支》

事業活動収入は、前年及び当初予算を下回りましたが、それ以上に事業活動支出が大幅に減少した為、事業活動収支差額は、前年度比 164.3%、当初予算比 134.9%と大幅な改善となりました。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
事業活動収入	370,823	369,760	▲1,062	372,300	▲2,539
事業活動支出	336,234	312,920	▲23,313	330,169	▲17,249
事業活動収支差額	34,588	56,839	22,251	42,130	14,709

《事業活動収入》

福祉サービスではほぼ予算どおりとなっております。その他サービスとして、25年度まで行っておりました、地域のご利用者の昼食をゆらくの里から提供することが困難となり委託となったことが要因であります。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
就労事業収入	—	—	—	—	—
福祉サービス	361,302	357,811	▲3,491	362,690	▲4,878
その他	9,520	11,949	2,428	9,610	2,339
計	370,823	369,760	▲1,062	372,300	▲2,539

《事業活動支出》

経費全体の削減が実施されましたが、大きな要因は人件費の減であります。これは人員補充が十分に実現できなかった結果起こった要因であります。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
人件費	231,431	216,119	▲15,311	231,481	▲15,361
事業費	71,344	69,465	▲1,878	72,412	▲2,946
事務費	28,788	22,393	▲6,394	22,610	▲216
就労支援支出	—	—	—	—	—
その他	4,670	4,971	271	3,666	1,275
計	336,234	312,920	▲23,313	330,169	▲17,249

3. 今人拠点

《事業活動収支》

25年度に引き続き、事業活動収支差額は赤字となりました。ほぼ当初予算どおりの金額であり、25年度と比較しても5,304千円の改善となりました。利用者増に対応する運営体制が不十分であると考えられ、これからの改善が必要であります。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
事業活動収入	102,173	121,702	19,528	124,105	▲2,402
事業活動支出	108,335	122,559	14,223	124,807	▲2,248
事業活動収支差額	▲6,161	▲857	5,304	▲702	▲154

《事業活動収入》

分類別で比較すると、25年度よりすべて改善されており、特に福祉収入は126.9%の改善となりました。しかし26年度当初予算と比較すると就労事業収入は約15%もマイナスで達成できておりません。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
就労事業収入	29,983	30,032	49	34,960	▲4,927
福祉サービス	71,775	91,099	19,323	88,950	2,149
その他	414	570	155	195	375
計	102,173	121,702	19,528	124,105	▲2,402

《事業活動支出》

25年度と比較すると収入が増加した分、各費用が増加しております。（事業費と事務費は科目処理の変更により発生）特に人件費は122.0%と大幅に伸び、収支差額が赤字となる要因となっております。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
人件費	59,406	72,510	13,103	73,118	▲607
事業費	12,137	6,094	▲6,043	12,876	▲6,781
事務費	7,656	14,146	6,490	6,763	7,383
就労支援支出	29,134	29,548	413	32,050	▲2,501
その他	—	258	258	—	258
計	108,335	122,559	14,223	124,807	▲2,248

4. 地域拠点

《事業活動収支》

全体結果から見ると、主に25年度及び26年度当初予算との差額は、カフェの売上のみで変化したものであります。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
事業活動収入	119,159	129,182	10,023	120,170	9,012
事業活動支出	152,922	151,764	▲1,157	152,085	▲320
事業活動収支差額	▲33,762	▲22,581	11,180	▲31,915	9,333

《事業活動収入》

事業活動収支差額同様、主に25年度及び26年度当初予算との差額は、カフェの売上のみで変化したものであります。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
就労事業収入	15,020	23,688	8,668	21,650	2,038
福祉サービス	103,912	105,173	1,261	98,489	6,684
その他	226	320	94	31	289
計	119,159	129,182	10,023	120,170	9,012

《事業活動支出》

地域拠点全体で見ると、人件費の増加分を事業費及び事務費の削減でカバーし、25年度及び26年度当初予算とほぼ横ばいの結果を残すことができました。経費減少の大きな要因としてポノビル購入による賃料支出がなくなったことであります。

単位：千円

	H25	H26	増減差	H26 予	予実差
人件費	84,928	95,188	10,260	94,527	661
事業費	25,220	19,495	▲5,725	24,103	▲4,607
事務費	20,600	12,765	▲7,834	16,001	▲3,235
就労支援支出	21,946	21,933	▲12	17,251	4,682
その他	227	2,381	2,154	203	2,178
計	152,922	151,764	▲1,157	152,085	▲320

5. 就労事業活動

《活動別収入》

各作業の売上は以下の通りであります。

単位：千円

活動名		H25	H26	増減差	H26 予	予実差
今人	パン	12,139	11,897	▲241	15,000	▲3,102
	掃除	2,244	2,279	35	2,950	▲670
	内職	131	97	▲33	300	▲202
	その他	650	—	▲650	—	—
	小計	15,164	14,274	▲889	18,250	▲3,975
すみれの里	BDF	546	1,329	783	1,100	229
	畑	36	181	144	240	▲58
	小計	582	1,510	928	1,340	170
我楽	食堂（そら）	14,445	14,272	▲172	15,440	▲1,167
	カフェ	9,078	17,203	8,124	15,000	2,203
	工房	5,510	6,459	948	6,500	▲40
	内職他（生活介護）	430	77	▲353	150	▲72
	小計	29,465	38,013	8,547	37,090	923
計		45,212	53,799	8,586	56,800	▲3,000

※内部売上を含むため、他の資料と合計金額が異なる。

※今人の平成25年度のその他の中には、BDFが含まれている。

《活動別収支》

各作業の収支は下記の通りであります。

単位：千円

活動名		H25	H26	増減差	H26 予	予実差
今人	パン	1,569	2,211	642		
	掃除	29	▲190	▲220		
	内職	131	91	▲40		
	その他	▲392	—	392		
	小計	1,338	2,112	774	3,241	▲1,123
すみれの里	BDF	73	▲647	▲720		
	畑	▲30	▲156	▲126		
	その他（生活介護）	▲1,022	—	1,022		
	小計	▲979	▲803	176	510	▲1,313
我楽	食堂（そら）	▲837	▲1,831	▲994		
	カフェ	▲7,962	286	8,248		
	工房	▲1,234	▲460	773		
	内職他（生活介護）	4	▲369	▲373		
	小計	▲9,192	▲2,375	7,654	5,624	▲7,999
計		▲9,671	▲1,061	8,610		▲10,436

※すみれの里の平成25年度「その他」には、未分類のBDF費用が含まれている。

《活動経費（原価）率》

各作業の原価内訳は下記の通りであります。

単位：千円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計	
今人	パン	3,801	31.9	2,460	20.6	3,424	28.7	9,686	81.4
	掃除	—	—	1,346	59.0	1,123	49.2	2,470	108.3
	内職	—	—	—	—	6	6.5	6	6.5
	小計	3,801	26.6	3,807	26.6	4,554	31.9	12,162	85.1
すみれの里	BDF	13	1.0	66	5.0	1,897	142.6	1,977	148.6
	畑	—	—	154	85.4	182	100.7	337	186.2
	小計	13	0.8	221	14.6	2,079	137.6	2,314	130.8
我楽	食堂（そら）	6,747	47.2	5,371	37.6	3,986	27.9	16,104	112.8
	カフェ	9,000	52.3	1,937	11.2	5,980	34.7	16,917	98.3
	工房	1,972	30.5	1,042	16.1	3,905	60.4	6,920	107.1
	内職他（生活）	—	—	446	578.2	—	—	446	578.2
	小計	17,719	56.6	8,797	23.1	13,871	36.4	40,388	106.2
計		21,528	40.0	12,825	23.8	20,505	38.1	54,860	101.9

◆就労事業全体

収入は、25年度と比較すると大きく改善（118.9%）されましたが、26年度当初予算と比較すると目標を上回った活動は、カフェのみでありました。また収支差額を見ると、今人パン事業及び我楽のカフェ事業以外は、すべて赤字事業であり、収支面では、全事業見直しが必要であります。

◆レストラン事業〔我楽：A型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

収入は、予算を大きく（92.4%）下回りましたが、25年度と比較すると、ほぼ同額を確保することができました。26年度は、調理師の退職（7月）に伴い、ゆらくの里衆望より代打職員を派遣しましたが、その間に原価管理が崩れてしまいました。しかし9月より採用しました調理師により売上の回復及び原価管理が実施され改善されました。一方、最低賃金を支給するようになり就労収支差額が赤字化しました。黒字化するためには、収入増加が必須条件となっております。

◆パン事業〔今人：生活介護事業など ふえりーちえ〕

収入に関しては、25年度開始当初は、カフェへの納品額が大きく寄与しましたが、

カフェのブーランジェの雇用を機に納品が大幅に減少したことで差額が発生しました。特別なことがなければ、現状程度の収入および収支差額となる見込みですが、閑散期の取組みによる収入増加を十分に検討していきます。

◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そーじや〕

2班に分けた活動を計画しておりましたが、公用車両及び職員手配が困難であったため実行できませんでした。

◆BDF事業〔今人：就労移行支援事業〕

BDF燃料供給車両は、香芝市循環バス車両及び我楽の送迎車両1台のみで、いつ供給できなくなるかわからない状態であります。環境事業の取組みの計画を再度立て直しする必要があります。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

春の奈良ファミリーの催事は、「ならスイーツコンテスト受賞」の影響もあり盛況となりましたが、パティシエの退職、サポートのパート職員の退職とこれまで中心に活動してきたメンバーがいなくなりました。27年度以降の活動及び計画の策定が必須となっております。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

専任のブーランジェが提供するパンの販売及びぱーぷる（奈良県の情報雑誌）の販売企画である「ランチパスポート」による集客により大幅な収入増（189.5%）により、収支も黒字化しました。

□平成26年度経営成績について

○安全性比率

名称	分析の目的	H25 H26.3.31	H26 H27.3.31
純資産比率	総資産のうち自己資金で賄えている割合を測定する。	96.0%	75.5%
流動比率	短期に支払いを要する債務に対する支払い準備資産の割合を測定する。	796.4%	217.1%
当座比率	短期に支払いを要する債務に対する支払準備の現金預金の割合を測定する。	331.6%	70.6%
固定長期適合率	固定資産に投入された長期資金の割合を測定する。	85.8%	90.6%
現金預金保有率	総資産に占める現金預金の割合を測定する。	11.5%	9.1%
未収金回転期間	事業収入が現金化されるのに何か月要しているかの期間	1.75月	2.74月
未払金回転期間	何か月分の経費支払いが残っているかを示す指標	0.59月	0.71月
減価償却累計比率	償却資産の使用程度を把握する。	37.3%	32.3%

※当年度減価償却累計比率算定するための固定資産には、土地が含まれております。
※減価償却は半期で計算しておりません。

現金預金の減少と借入金の増加により、回転期間の指標を除き、各指標は大幅に悪化しております。特に「現金預金保有率」が10%を切ったこと、流動比率が約4分の1に減少したこと、当座比率が5分の1になったことは、手持ち資金不足を意味し、27年度運営の懸念材料であります。

○収益性比率

名称	分析の目的	H25 H26.3.31	H26 H27.3.31
事業活動資金収支差額比率	事業活動の資金収支上の収益力を測定する。	▲0.9%	5.4%
人件費比率	経常活動の収益力に人件費が及ぼしている影響を測定する。	63.4%	62.2%

※事業活動収入の範囲が、「新会計基準」に移行したことで変わり（就労事業収入が含まれるようになった）、比率が低く算定されるようになった。

収支差額比率は、依然として低いです。10%を目標とした事業運営目標を置く必要があります。また人件費比率減少理由は、人材確保が予定通り行えていないためであります。

○成長性比率

名称	分析の目的	H25 H26.3.31	H26 H27.3.31
事業活動収入増加率	前年同月比での成長率を測定し、傾向を把握する。	214.7%	104.1%
人件費増加率		220.4%	102.1%
事務費増加率		311.4%	84.8%
事業費増加率		208.0%	84.9%
事業活動収支差額増減率		－%	－%

※「新会計基準」に移行したことで、基準金額が変更となり同水準で比較できないものもあります。

経費削減により、26年度は率的には改善することができました。なお「事業活動収支差額増減率」は、25年度赤字のため算出しておりません。

○生産性比率

名称	分析の目的	H25 H26.3.31	H26 H27.3.31
総資産回転率	資産利用の効率性を測定する。	58.7%	46.8%
職員1人当たりの 経常活動収入	職員1人が生み出す経常活動資金収入の額を測定する。	9,758千円	9,009千円
利用者1人当たり 人件費	利用者一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	9,130円	8,837円
職員1人当たりの 人件費	職員一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	6,231千円	6,240千円
職員1人当たりの 利用者数	職員1人当たりが担当する利用者数を測定する。	113.8人	117.7人
労働生産性	職員1人が生み出す付加価値の額	7,300千円	7,316千円
労働分配率	生み出された付加価値が、人件費に分配された割合を測定する。	85.4%	85.3%

※「職員1人当たりの利用者数」を除き、その他の職員には、間接職員を含み、パート職員、アルバイト職員は除く。

※人件費は、簡易に計算ができるため非常勤給与も含む。

※年間利用延べ人数には、そーる、しゅーくの利用者を含んでいない。(総数にあまり影響がないため)

利用者増（収入増）により各生産性比率は、若干ではありますが改善されています。しかし、適正人員数であるか、それに見合う利用者数（収入）であるかを判断した場合、入所事業においては、重度化・高齢化していく支援に見合わなく、就労事業においてもご利用者数に対する十分な支援ができていないものです。人員配置が改善されれば、人員加配加算など収入も増加させることができるため改善されることとなりますが、障害福祉に対す

る福祉サービス料金設定は、一般企業と比較するとまだまだ低いと判断できます。福祉業界では、「人」の手で行わなければならない業界の代表であるため日本の産業平均（764万円〔2013年〕）に比べて低くなっています。当法人（ゆらくの里）のように高齢化、重度化が進むと、収入以上に職員の労力が必要となります。今後の福祉業界にとっての課題であります。

□資金残高について

◆資金（預金残高）の推移について

1. ゆらくの里拠点・地域拠点

	平成 23 年 3 月 31 日	平成 24 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日
実残高	73,164,388	84,296,123	107,033,895	71,275,512	92,945,427
積立	30,280,000	50,280,000	88,280,000	38,280,000	38,280,000
会計上残	42,884,388	34,016,123	18,753,895	32,995,512	54,665,427
前期 比較	↓ 28,332,904	↑ 11,131,735	↑ 22,737,772	↓ 35,758,383	↑ 21,669,915

※前期比較は、預金実残高で比較

※現在においても、旧の会計基準である「一般会計」と「就労会計」で、支払等の預金区分が別れているため、新会計基準での拠点割においても、資金区分は変更していない。

※増加要因は、3月31日の借入による、風鈴山荘最終支払い分の一部が資金として増加した。ただし5月の支払いにおいて、自己資金約3000万円の支出、ポノビルのトイレ改修（約1000万円）費用が発生する為、27年開始当初は減少する。

※実残高のうち、定期預金及び本部資金等を除き、通常使用可能な運転資金となり得る預金残高は、44,168千円のみである。ここから、上記記載の最終支払い自己資金分、改修費、賞与などを支払うことを考えると、十分な資金は残っていない。

2. 今人拠点

	平成 23 年 3 月 31 日	平成 24 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日
実残	32,602,913	31,197,721	64,522,040	44,457,725	26,442,409
積立	7,300,000	8,850,000	9,650,000	12,245,000	12,030,000
会計上 残	25,302,913	22,347,721	54,872,040	32,212,725	14,412,409
前期 比較	↑ 8,391,154	↓ 1,405,192	↑ 33,324,319	↓ 20,064,315	↓ 18,015,316

※現時点、赤字事業が増加しているため資金増加が困難になっているが、手持ち残高は、毎月の支払金額をみるとゆらくの里と比較した場合、余裕がある。

◆積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

施設整備等積立金	38,280,000 円
工賃変動積立金	2,035,000 円
設備等整備積立金	9,995,000 円

であります。平成26年度内に積立金の取崩は行いませんでした。

平成27年度に入ると、早々に風鈴山荘の最終支払い自己資金分の支払（4月30日実行済）、ポノビルトイレ改修費用、6月の賞与支給などまとまった費用発生が、早々に控えております。ゆらくの里及び地域拠点において手持ち資金が不足となります。

27年度は、最大20,000,000円の施設整備等積立金の取崩（定期預金の解約）が必要になるかもしれません。法人内資金の状態を勘案し取崩の承認を必要とします。

◆今後の資金計画について

27年度予算において、30,000,000円の積立を予算計上しているものの、手持ち資金の減少等に伴い、期首における流動資産の回復までが実行可能な範囲と考えられます。資金の支出については、必要であるかの判断を行い、可能な限り抑える心がけをしていかなければなりません。

□平成26年度研修等報告

各事業において、ご利用者へのより良い支援を実施するために、1年間に渡り多数の研修への参加を実施してきました。研修で学んだことは、直接支援に活かされています。

平成26年度の参加研修は、以下のとおりであります。

1. 研修実績

事業名	平成25年度		平成26年度	
	参加件数	参加人数	参加件数	参加人数
ゆらくの里	16	32	26	49
栄養士	9	10	8	8
管理	4	4	8	12
今人・我楽・すみれの里	21	35	28	44
相談支援事業	23	31	27	36
児童課	23	43	22	40
地域支援(グループホーム)	6	6	7	7

2. ゆらくの里

○ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 3日	障害者グループホーム見学会 積水ハウス	堺市中区深坂	中山、杉本
5月 10日	自閉症 e サービス研修会 自閉症 e サービス	大阪社会教育センター	杉本
5月 23日	奈良県知的障害者施設協会総会 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	中山
6月 7日	県施設協会看護師部会研修「てんかんについて」 奈良県施設協会	県社会福祉総合センター	浦林、秋田
6月 10日	「部下をやる気にさせる人材育成術」 奈良県社会福祉法人経営者協議会 青年経営者会	奈良ロイヤルホテル	中山
6月 12日	会計研修 税理士法人アシスト	ボノボビル	中山
6月 18日	施設見学研修(社会福祉法人萌 障害福祉サービス事業所 おかわり)	障害福祉サービス事業所 おかわり	黒松

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月28日	自閉症 e サービス研修会 自閉症 e サービス	大阪社会教育センター	杉本
7月7日	「自閉症の特性と支援の原則」 奈良県自閉症協会	やまと郡山城ホール	杉本 俵原 中島 高松 平方 服部 山本
7月24日	会計研修 税理士法人アシスト	ボノボビル	中山
7月26日	自閉症 e サービス研修会 自閉症 e サービス	大阪社会教育センター	杉本
8月16日	「リハビリとは」 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	浦林
8月21日	施設見学研修（大阪府障害者福祉 事業団 医療福祉センター す くよか見学）	医療福祉センター すくよか	杉本 中島 高松 平方 中山
8月28日	施設見学研修（大阪府障害者福祉 事業団 医療福祉センター す くよか見学）	医療福祉センター すくよか	浦林
9月17日	社内木鶏説明会	サンメッセ香川	中山
9月25日	「食事介助」 奈良県栄養士会	県社会福祉総合センター	俵原、通阪
10月25日	県施設協会看護師部会研修「精神 科でみられる問題行動とその対 応」 奈良県知的障害者施設協会	高取ワークス やすらぎの丘	杉本・中島 高松
11月22日	自閉症 e サービス活動会員勉強 会「家族の連携」「新規利用者の 受入」 自閉症 e サービス	BONワークス西 宮	杉本
12月6日	自閉症 e サービス活動会員勉強 会「大阪地区基礎講座」 自閉症 e サービス	大阪社会教育指導 センター	杉本・浦林 山本
1月10日	自閉症 e サービス活動会員研修 報告「生活介護事業における現状 と今後の展望～作業導入と工賃 の動機付け～」 自閉症 e サービス	障害者支援施設ハ ニカム	杉本
1月17日 18日	自閉症 e サービス活動会員研修 報告「2DAYトレーニングセミ ナー」 自閉症 e サービス	いたみ杉の子	杉本
2月3日	奈良県知的障害者施設協会施設 長会議及び講演 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	中山

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
2月 6日	自閉症 e サービス活動会員研修 自閉症 e サービス	第2わらしべ園	杉本
3月 7日	自閉症 e サービス実践報告会 自閉症 e サービス	大阪社会指導センター	杉本、山本 浦林、山内
3月 9日	精神障害者介護ヘルパー研修 社会福祉法人 萌	県社会福祉総合センター	黒松
3月 12日	施設見学研修 (美吉野園)	障害者支援施設 吉野学園	杉本、俵原 山本、浦林

○栄養士 (調理師含む)

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 20日	障害者施設栄養士の会 奈良県栄養士会	こだまの里	米田
5月 23日	奈良県知的障害者施設協会総会 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	米田
5月 29日	障害者施設栄養士の会 奈良県栄養士会	奈良県産業会館	米田
7月 10日	「衛生管理 Q&A の検討」 奈良県栄養士会	五條学園	米田
9月 25日	「大量調理衛生管理・ノロウイルス対応」 奈良県栄養士会	県社会福祉総合センター	米田
9月 25日	「食事介助」 奈良県栄養士会	県社会福祉総合センター	米田
9月 30日	日本人の食事摂取基準 2015 年版 研修会 葛城保健所	県社会福祉総合センター	米田
1月 20日	障害者施設栄養士の会 「摂食嚥下に関する食形態の情報共有」「精神薬と食事の関係」 奈良県栄養士会	ボノボビル	米田

○管理

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 3日	戦略的な情報公開に向けた備え 全国社会福祉協議会	ホテル大阪ベイタワー	森本、西原
4月 18日	移動支援事業・日中一時支援事業 説明会 奈良市	奈良市役所	森本
6月 12日	会計研修 税理士法人アシスト	ボノボビル	森本、西原
7月 24日	会計研修 税理士法人アシスト	ボノボビル	森本、西原
9月 17日	社内木鶏説明会	サンメッセ香川	森本
1月 5日	非正規雇用の法律問題 奈良県社会福祉法人経営者協会	県社会福祉総合センター	西原
1月 26日	社会福祉法人の内部統制セミナー 監査法人トーマツ	TKP淀屋橋カンファレンスセンター	岩井、森本
2月 3日	奈良県知的障害者施設協会施設 長会議及び講演 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	森本

3. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 5日	発達障害講演会「困っているのに 困った子と言われる子どもたち」 奈良県発達障害支援センター「で いあー」	県社会福祉総合セ ンター	ト田
5月 29日	明日香養護学校見学会	明日香養護学校見 学会	大谷、高科
5月 31日	「TEACCH の理念」 TEACCHプログラム研究会 大阪支部		北井
5月 31日	発達障害者支援講座「自閉症の特 性理解と支援」 奈良県発達障害支援センター「で いあー」	県社会福祉総合セ ンター	ト田・中山・ 森田・柳
6月 2日 3日	第5回障害者就労支援施設の食 を通じて新しいビジネスネット ワークを考える実践研修会 全国知的障害者施設協会	岐阜県 恵那たんぼぼ作業 所	大谷
6月 10日	「部下をやる気にさせる人材育 成術」 奈良県社会福祉法人経営者協議 会 青年経営者会	奈良ロイヤルホテ ル	大谷
7月 24日 25日	第37回てんかん基礎講座 公益社団法人 日本てんかん協会	大阪商工会議所	田中
7月 26日	自閉症 e サービス研修会 自閉症 e サービス	大阪社会教育セン ター	藤尾
8月 26日	施設見学研修（大阪府障害者福祉 事業団 医療福祉センター す くよか見学）	医療福祉センター すくよか	藤尾
8月 29日	「障害者はたらく応援団なら」い まならでできる 奈良労働局・奈良県障害者支援セ ンター		ト田
9月 9日	日本ライトハウス見学 （視覚障害者の就労訓練につい て）		ト田
9月 14日	「自閉症の未来のために！自閉 症の特性と支援の原則」 自閉症 e サービス	奈良県文化会館	北井
9月 6日 ～ 8日	第3回 全国生産活動・就労支援 部会 職員研修会 日本知的障害者福祉協会	東京 日比谷公会堂 日比谷公園	岡、八幡
9月 30日 ～ 10月 3日	サービス管理責任者国研修	埼玉県所沢市	大谷

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
11月28日	自閉症者のための勉強会 評価 セミナー 奈良県自閉症協会	三の丸会館	北井、岡 堀川
12月17日	職業評価ミニ講座 県障害者職業センター	県障害者職業センター	ト田
12月19日	自閉症者のための勉強会 評価 セミナー 奈良県自閉症協会	三の丸会館	北井、岡 堀川
1月14日	職業評価ミニ講座 県障害者職業センター	県障害者職業センター	ト田
1月20日	サービス管理責任者等研修「共通 講座」 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	大谷、八幡 阪本
1月23日	自閉症者のための勉強会 評価 セミナー 奈良県自閉症協会	三の丸会館	北井、岡 堀川
1月24日	県心身障害者施設連盟職員研修会 県心身障害者施設連盟	奈良県社会福祉総合センター	大谷、岡
1月29日 30日	サービス管理責任者研修（介護） 奈良県	奈良県文化会館	阪本
2月3日	奈良県知的障害者施設協会施設 長会議及び講演 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	大谷
2月12日 13日	サービス管理責任者研修（介護） 奈良県	奈良県文化会館	八幡
2月19日 20日	サービス管理責任者研修（就労） 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	大谷、八幡
2月25日	職業評価ミニ講座 県障害者職業センター	県障害者職業センター	ト田
2月26日 27日	サービス管理責任者研修（就労） 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	大谷、阪本
3月11日	職業評価ミニ講座 県障害者職業センター	県障害者職業センター	ト田

4. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 8日	近畿地区知的障害者施設協会 総会 近畿地区知的障害者施設協会	ホテルアバローム 紀の国	吉田
5月 13日	発達障がい支援センター P A L見学研修 発達障がい支援センター P A L	東大阪市高井田	吉岡
6月 1日	自閉症スーパーバイズ研修 重松先生	ボノボビル	吉田
6月 10日	「部下をやる気にさせる人材育 成術」 奈良県社会福祉法人経営者協議 会 青年経営者会	奈良ロイヤルホテ ル	吉田
6月 16日	日本知的障害者福祉協会 相談 支援部会 日本知的障害者福祉協会	協会本部ビル	吉田
6月 20日	奈良県相談支援事業所連絡会 勉 強会「ぶっちゃけ会議」 奈良県福祉圏域マネージャー	大和郡山市 中央公 民館	吉田
6月 21日	行動援護従事者養成研修 広陵町商工会議所	広陵町商工会議所	吉田
7月 3日	障害支援区分認定調査員研修 奈良県	奈良県産業会館	吉岡 保川 吉田
7月 4日	中和圏域就労支援会議 なら中和障害者就業・生活支援セ ンター ブリッジ	奈良県産業会館	吉田
7月 29日	奈良県草案支援従事者初任者研 修（1日目）	奈良県文化会館	保川
7月 30日	奈良県草案支援従事者初任者研 修（2日目）	奈良県文化会館	保川
8月 19日 20日	奈良県相談支援従事者現任研修	奈良県産業会館	吉田
8月 22日	奈良県草案支援従事者初任者研 修（3日目）	奈良県文化会館	保川
8月 28日	近畿地区知的障害者施設協会 第2回役員会 近畿地区知的障害者施設協会	A N Aクラウンプ ラザホテル神戸	吉田
8月 29日	奈良県草案支援従事者初任者研 修（4日目）	奈良県産業会館	保川
9月 2日	福祉有償運送協同運営協議会	総合福祉会館（ゆう ゆうセンター）	吉田
9月 12日	奈良県草案支援従事者初任者研 修（5日目）	奈良県産業会館	保川

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
10月 3日	香芝市相談支援事業所連絡会議 香芝市	香芝市総合福祉センター	吉田、吉岡
10月 21日	行動援護従事者養成研修 広陵町商工会議所	広陵町商工会議所	吉田
10月 24日	中和圏域相談支援事業所連絡会議 中和圏域マネージャー	大和高田市総合福祉会館	吉田、吉岡
1月 7日	行動援護従事者養成研修 広陵町商工会議所	広陵町商工会議所	吉田
1月 9日	西和養護学校進路ガイダンス 西和養護学校	西和養護学校	吉田、吉岡 保川
1月 14日	日本知的障害者福祉協会 相談 支援部会 日本知的障害者福祉協会	協会本部ビル	吉田
2月 3日	報酬単価改定について 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	吉田、吉岡
3月 3日 4日	部会協議会 日本知的障害者福祉協会	TOC有明コンベンションセンター	吉田
3月 15日	障がい児支援の在り方 奈良県	奈良県文化会館	吉岡
3月 17日	香芝市相談支援事業所連絡会議 香芝市	香芝市総合福祉センター	吉田、吉岡 保川

5. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 5日	困っているのに困った子といわれる子どもたち 奈良県発達障害支援センターで いあ～	奈良県社会福祉総合センター6F	浦田・松田・ 堀川・西本
5月 7日	大淀養護学校 事業所見学会	大淀養護学校	浦田・松田
5月 26日	落ち込みグセから脱出するテク ニック 日本メンタルヘルス協会	エトワール心斎橋 6 F	堀川
6月 1日	自閉症スーパーバイズ研修 重松先生	ボノボビル	児童課職員
6月 2日	新しいあなたに生まれ変わる 8 ステップ 日本メンタルヘルス協会	エトワール心斎橋 6 F	堀川

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月16日	本当の音楽に出会える音楽力 日本メンタルヘルス協会	エトワール心齋橋6 F	堀川
6月22日	ひらがな・漢字・英語の学習障害の 特徴とアセスメント及び指導方法① 滋賀大学・教育実践総合センター・ NPO 法人滋賀大キッズカレッジ	滋賀大学教育学部 小講義室	堀川
6月23日	どんな時も自分をコントロール できる魔法の暗示 日本メンタルヘルス協会	エトワール心齋橋6 F	堀川
7月27日	ひらがな・漢字・英語の学習障害の 特徴とアセスメント及び指導方法② 滋賀大学・教育実践総合センター・ NPO 法人滋賀大キッズカレッジ	滋賀大学教育学部 小講義室	堀川
8月31日	ひらがな・漢字・英語の学習障害の 特徴とアセスメント及び指導方法② 滋賀大学・教育実践総合センター・ NPO 法人滋賀大キッズカレッジ	滋賀大学教育学部 小講義室	堀川
9月13日	自閉症スーパーバイズ研修 重松先生	ボノボビル	児童課職員
9月22日	これからの生き方とは・・・未来 心理学 日本メンタルヘルス協会	エトワール心齋橋6 F	堀川
10月10日	香芝市民講座～親子関係を考える～① 数字を通して、子供の教育 を考える～数学者からヒントを 得る～ 香芝市教育委員会	香芝市総合福祉セ ンター	堀川
10月15日	香芝市民講座～親子関係を考える～② 子供を伸ばす子育てのコツ～ 子育てに「悩んだとき」「困 ったとき」どうすればいい？～ 香芝市教育委員会	香芝市総合福祉セ ンター	堀川
10月22日	香芝市民講座～親子関係を考える～③ コミュニケーションスキル を子育てに活かす 香芝市教育委員会	香芝市総合福祉セ ンター	堀川
10月31日	香芝市民講座～親子関係を考える～④ 親の思いと子供のこころ 香芝市教育委員会	香芝市総合福祉セ ンター	堀川
2月3日	理想的な脳のコントロール法を 身に付ける 日本メンタルヘルス協会	エトワール心齋橋6 F	堀川
2月23日	大切な人とわかりあえる解決法 日本メンタルヘルス協会	エトワール心齋橋6 F	堀川
3月6日	ポーター早期療育プログラム 中級研修セミナー① 応用行動分析の原理とその適用事例発表 日本ポーター協会	常盤コミュニテ ィーセンター・ウイン クあいち	堀川

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
3月 6日	未来心理学 これからの生き方 とは 日本メンタルヘルス協会	安保ホール	堀川
3月 7日	ポーターズ早期療育プログラム 中級研修セミナー②課題分析と 活動チャート ポーターズプロ グラムによる指導の実際と親・家 族支援 日本ポーターズ協会	常盤コミュニテ ィーセンター・ウイン クあいち	堀川
3月 8日	ポーターズ早期療育プログラム 中級研修セミナー③課題分析と 活動チャート 実習	常盤コミュニテ ィーセンター・ウイン クあいち	堀川

6. 地域支援（グループホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 18日	移動支援事業・日中一時支援事業 説明会 奈良市	奈良市役所	山林
5月 3日	障害者グループホーム見学会 積水ハウス	堺市中区深坂	山林
7月 4日	福祉サービスマナー研修（管理者 用） 奈良県社会福祉協議会	県社会福祉総合セ ンター	山林
9月 28日 ～ 29日	地域支援セミナー研修 日本知的障害者福祉協会	新横浜国際ホテル	山林
1月 20日 26日 27日	サービス管理責任者研修 奈良県	県社会福祉総合セ ンター	山林
1月 28日	大阪市移動支援事業者集団指導 説明会 大阪市		山林
2月 12日 13日	近畿地区施設協会職員研修会 近畿地区施設協会	ホテルアウヰーナ 大阪	山林

苦情解決の状況

平成26年4月1日から平成27年3月31日

事業区分	受付			苦情先		苦情内容				処理状況	
	電話	直接	計	第三者 委員	施設	施設 設備 (運 営)に 対す るも の	支 援 (支 援者) に 対す るも の	利 用 者 に 対す るも の	そ 他	対 応 解 決 済	継 続 実 施 中
ゆらくの里	5	11	16	0	16	3	10	2	1	16	0
今人・我楽 すみれの里	24	0	24	0	24	8	11	1	4	24	0
コテージ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
はぐらいぶ	1	—	1	—	1	1	—	—	—	1	—
のあ	0	12	12	0	12	2	7	1	2	12	0
しえーく	3	0	3	0	3	0	3	0	0	3	0
計	33	23	56	0	56	14	31	4	7	56	0